

女性専用コース開設

CADものづくりサポート科

県内初 15人が体験授業参加

ポリテク荒尾

荒尾市荒尾、ポリテクセンター荒尾(熊本職業能力開発促進センター荒尾訓練センター、植園悦朗センター長)で、7月に開講する「CADものづくりサポート科」の説明会が18日に同センターで行われ、女性15人が体験授業などに臨んだ。

同科は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営する全国のポリテクセンターで12番目、熊本県内では初めて開設される女性専用コース。国が掲

げる「一億総活躍社会」の実現に向け、7月から6カ月間、パソコンを使用した「ものづくり」と一般事務に関する職業能力を身に付けることができるコースとなっている。

行われた。

植園センター長のあいさつに続いて、安原加奈子就職支援アドバイザーが訓練コース内容を説明。図面の知識やCADの技能を習得すると、就職試験の際に他の事務希望の人より採用される可能性が高くなることも示し、自分は何をやりた

CADとはコンピュータを使って図面を作成するソフトの総称。前半3カ月間はCADを活用した製図で材料を加工して部品を製作。後半3カ月間で財務会計・管理とIT基本(日本語処理ソフト、表計算ソフト)を学ぶ。

募集は24日まで受け付け、6月1日に筆記試験および面接による選考が行われる。定員は15人。体験授業を含めた説明会は、機器数の関係もあり定員と

同人数に絞って

梶原課長は「製造業を再就職先として想定する女性には少ないが、当コースを受講して『ものづくり』の楽しさも体験し、就職先の幅を広げてほしい」という。問い合わせはポリテクセンター荒尾(電09668620179番)へ。



「CADものづくりサポート科」の体験授業に臨む女性たち

募集は24日まで受け付け、6月1日に筆記試験および面接による選考が行われる。定員は15人。体験授業を含めた説明会は、機器数の関係もあり定員と同人数に絞って

(菅嶋 公尚)